

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇PVC Award 2019 受賞作品が決まる！

## ■随想

◇経済産業省が「世界の石油化学製品の今後の需給動向(2017年)」を公表（汎用樹脂編）

## ■トピックス

## ◇PVC Award 2019 受賞作品が決まる！

「新しい時代を Create する PVC 製品」をテーマに、PVC 素材の優れた特徴を生かし社会へのソリューションを提供する PVC 製品を発掘することを目的として塩ビ工業・環境協会、日本ビニル工業会、日本ビニール商業連合会、日本プラスチック製品加工組合連合会の4団体が主催する PVC Award 2019 について、受賞作品が決定し12月18日（水）に公表しました。

今回のコンテストは、市場にある PVC 製品（販売開始5年以内の製品とこれから商品化する製品）を対象として、2019年6月1日～10月31日の期間に募集し、全国から115点の作品の応募がありました。11月29日（金）に審査会を開催して、次の5つの審査基準をもとに応募作品の中から受賞作品を選びました。

- ① “新しい時代を Create する PVC 製品”のテーマに相応しいか
- ② 市場の規模、売上高、商品として潜在的市場獲得力があるか（市場性）
- ③ PVC（塩ビ素材）の特長が活かされ、機能性を発揮する製品であるか（機能性）
- ④ 新規性や創造的な発想、表現がデザインされているか（独創性）
- ⑤ 環境配慮設計やリサイクルなど持続性（エコ、省エネなど）への貢献度（環境性）

審査員は次のとおりです。

芝浦工業大学デザイン工学部教授 橋田 規子  
日刊工業新聞社論説委員・編集委員 山本 佳世子  
塩ビ工業・環境協会副会長 宮島 正紀  
日本ビニル工業会会長 齋藤 一也  
日本ビニール商業組合連合会会長 勝山 正昭  
日本プラスチック製品加工組合連合会理事 長岡 巨久

審査の結果、準大賞（1点×50万円）、今回急遽新設された審査員賞（2点×10万円）、優秀賞（5点×10万円）、入賞（4点×2万円）が選ばれました。今回、大賞に該当する作品はありませんでしたが、準大賞の受賞が決まりました。

準大賞は、アキレス(株)（後藤修斗氏）の応募作品「スカイクリア防災 & Ziptrak®ロールスクリーン



スカイクリア防災 & Ziptrak®  
ロールスクリーンシステム

システム」が受賞しました。”スカイクリア防災”が製品のスクリーン部分の特長であり、防災性（消防法防災製品登録）と耐候性（紫外線による黄変抑制）を両立させ、紫外線を99%以上カットした高い透明性を維持した塩ビフィルムです。これにより、屋外空間との間仕切り提案が可能となり、天候に合わせた開放的な空間を演出します。また、素材（スカイクリア防災）の機能性のみならず、専用のフレームである”Ziptrak®ロールスクリーンシステム”と合わせて提案することで、より魅力的な可能性を感じさせています。これらは開閉も自由自在で、カフェテラス、レストラン、スポーツ施設など外と内の間に新しいパーティションを提供するものです。審査員から、テラスの間仕切りとして透明で、おしゃれに感じる点が高く今風な感覚が高く評価されました。ただし、塩ビ素材の特徴より枠を入れた全体システムをアピールする感が強いとのコメントもありました。



ハイブリーダーガード  
HB-500



TAIKAN STREAM



ハイブリッド断熱サッシ  
PRESEA-H

優秀賞については、靴底の泥が落ちやすい作業用長靴「ハイブリーダーガードHB-500」（弘進ゴム(株)）、トレーニング器具「TAIKAN STREAM」（(株)MTG）、ビル用サッシ「ハイブリッド断熱サッシPRESEA-H」（(株)LIXIL）、災害・日常両用の移動式照明「キャリー・ザ・サン」（ランドポート(株)）、食肉解体工場等用作業服「タフブレード」（舟橋(株)）の5点が受賞しました。

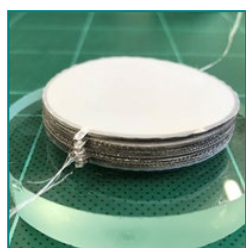


キャリー・ザ・サン



タフブレード

審査員賞は、AssistMotion(株)（橋本稔氏）の作品で塩ビ製人工筋肉を用いた健康器具「heige LS」と大谷高校（進撃の大谷ガールズ）の作品でAED支援用具「まもるまる」の2点が受賞しました。審査員から、前者は、研究開発色が強いことと、イノベーション関係の出品としてこれまでになかったこと、後者は、高校生から医療用途への提案とメッセージ性があることから、特別に表彰する方がよいのではないかと審査員全員の意見が一致して急遽「審査賞」の受賞が決定しました。



heige LS



まもるまる

入賞については、黒板のように使える壁紙「Blackboard」((株)サンゲツ)、伝統工芸との合体バッグ「美濃和紙クリアバッグ」((株)三共)、手触り良い日本酒用のPVCバイオマスシュリンクフィルム「和 shu」((株)コバヤシ、サンプラスチック(株))、そしてテントをホテル仕様にした「球体テント」((有)三鷹テント、(株)オープンエー)の4点が受賞しました。



Blackboard



和 shu



美濃和紙クリアバッグ



球体テント

今回審査員を務めていただいた橋田教授と山本氏から以下の審査員講評をいただきました。

橋田教授：「今回の審査の上位賞には、アウトドアや防災、健康づくり、食品衛生に関したのものがあり、これらは、今、皆さんが必要と感じていて、欲しいものでもあります。これらを、塩ビ素材が支えているということがわかり、改めてこの素材の優秀さを感じました。いくつかの製品はさらによくできる要素もあるので、今後も改良して行ってほしいと思います。次回には大賞に相応しい、アッと驚くような、魅力的な応募をお願いしたいと思います。」

山本氏：「私はかつて化学業界担当記者をしていたことから、塩ビの製造やパイプ・波板の製品については、ある程度の知見を持っていました。けれども塩ビが、こんなにも多様で身近な生活関連製品に使われていることを知ったのは、恥ずかしながらアワードの審査委員となったのでした。成形性、柔軟性、耐久性、色彩の鮮やかさ…。応募作品を手にとって「こんなふうにも使えるのか」と実感した次第でした。一般の方々も、展示会を通して作品から刺激を受けて、新たな創造性を発揮する社会へとつながっていくことを願っています。」

表彰式は来年1月10日(金)10時20分から如水会館(東京都千代田区)で、また展示会を来年1月17日(金)から26日(日)まで、東京丸の内内のGOOD DESIGN Marunouchiにて行う予定です。展示会には是非足をお運びいただけますようご来場をお待ちしております。

お問合せ：[info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)

PVC Award：[公式サイト](#)

■ 随想

◇経済産業省が「世界の石油化学製品の今後の需給動向(2017年)」を公表  
(汎用樹脂編)

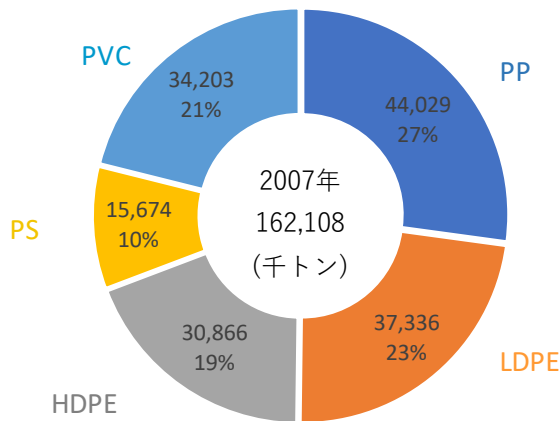
10月、経済産業省は「石油化学製品の今後の需給動向」2017年を公表しました。その中から、2017年の汎用樹脂(PP/LDPE/HDPE/PS/PVC)の世界における需要量について2007年(リーマンショックの前年)との比較で紹介します。

2017年の世界における汎用樹脂の総需要量は約21,830万トンとなり、2007年の総需要量約16,210万トンから約35%増加しました。

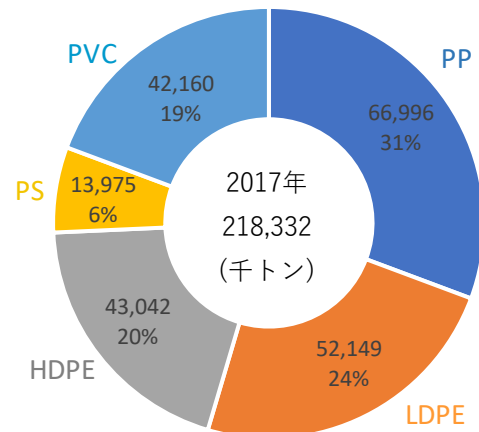
汎用樹脂中のシェアはPPが27%(2007年)から31%(2017年)に4%増加、LDPEが23%から24%に1%増加、HDPEが19%から20%に1%増加、PVCが21%から19%に2%減少、PSが10%から6%に減少となりました。

増加率ではPPが2007年比で約52%増と最も高く、次いでLDPE,HDPEが約40%、PVCが23%、PSが-11%となっています(グラフ1及び2参照)。

グラフ1. 2007年世界の汎用樹脂別需要量/比率



グラフ2. 2017年世界の汎用樹脂別需要量/比率



主な地域、国別にみると汎用樹脂の最大の需要国は中国で2007年の約2.1倍の7,500万トンと全体の約34%を占めています。韓国、台湾、インド、ベトナム、インドネシア等を含むその他アジアも2007年の約1.75倍の3,470万トンとなっており日本も含めるとアジア地域全体で約54%を占めています。また、中東、アフリカ、CIS、中南米を含むその他地域も2007年の約1.4倍の3,880万トンとなりました。

一方、欧州は2007年比約22%減の3,200万トン、日本は約8%減の710万トン、北米は2%増の3,070万トンとなっています。(表1及び2参照)

表1.2007年 汎用樹脂別・国/地域別需要量

(単位：千t)

	日本	中国	その他アジア	欧州	北米	その他地域	計
PP	2,681	9,871	5,933	11,927	6,841	6,776	44,029
LDPE	1,951	6,540	4,392	10,089	7,579	6,785	37,336
HDPE	962	4,306	3,795	7,888	6,939	6,976	30,866
PS	893	4,742	1,461	3,534	2,695	2,349	15,674
PVC	1,286	9,693	4,262	7,719	6,144	5,099	34,203
合計	7,773	35,152	19,843	41,157	30,198	27,985	162,108
%	4.8	21.7	12.2	25.4	18.6	17.3	100

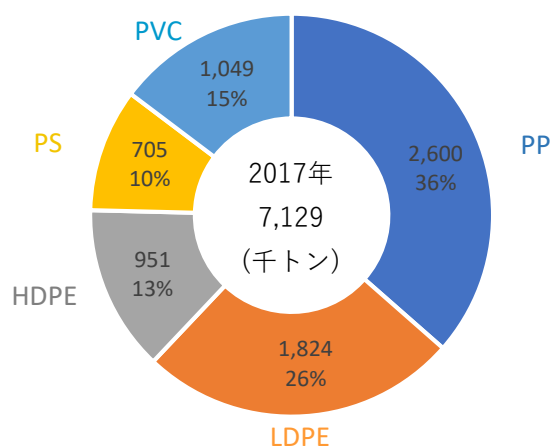
表 2. 2017 年 汎用樹脂別・国/地域別需要量

(単位：千 t)

	日本	中国	その他アジア	欧州	北米	その他地域	計
PP	2,600	26,228	11,476	9,968	6,973	9,751	66,996
LDPE	1,824	15,603	8,081	8,068	8,785	9,788	52,149
HDPE	951	12,653	6,677	6,125	6,963	9,673	43,042
PS	705	3,300	1,793	2,959	2,471	2,747	13,975
PVC	1,049	17,250	6,644	4,913	5,487	6,817	42,160
合計	7,129	75,034	34,671	32,033	30,679	38,776	218,322
%	3.3	34.4	15.9	14.7	14.0	17.7	100

ちなみに日本においては汎用樹脂中の各樹脂のシェアは、PP36.5%、LDPE25.6%、HDPE13.3%、PS9.9%、PVC14.7%となっています（グラフ 3 参照）。

グラフ 3. 2017年日本の汎用樹脂需要量/比率



PVC は全世界平均では汎用樹脂中のシェアが 19.3%ですが、日本においては 14.7%と先進国中で最も低い水準となっています（欧州(15.3%)、北米(17.9%)）。

最後に 2017 年の地域、国毎の汎用樹脂中のシェアを見ると、

日本は PP(36%)、LDPE(26%)

中国は PP(35%)、PVC(23%)

その他アジアは PP(33%)、LDPE(23%)

欧州は PP(31%)、LDPE(25%)

北米は LDPE(29%)、PP(23%)

その他地域は LDPE(25%)、PP(25%)

のシェアが高くなっています（表 1 及び 2 参照）。

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。

---



■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601    ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp>    ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)

---